

概念設計

衛星ミッション選定
衛星仕様検討

予備設計

試作試験モデル製作・試験
搭載センサ試作試験
バス系機器試作試験

基本設計

搭載センサの基本設計
バス系機器の基本設計

詳細設計

構造試験モデル製作・試験
熱試験モデル製作・試験
電気モデル製作・試験

維持設計

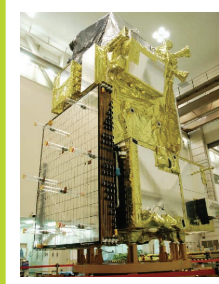
センサフライトモデル製作・試験
AVNIR-2熱真空・振動・衝撃試験
PALSAR熱真空・振動・衝撃試験
PRISM熱真空・振動・衝撃試験
PALSARアンテナ展開試験
PALSARの電波試験
バス機器フライトモデル製作・試験
燃料タンク音響試験
データ中継用アンテナ展開試験
太陽電池パドル展開試験
ALOSシステムインテグレーション
初期電気性能試験
地球観測センター適合試験
質量特性試験
熱真空試験
振動試験
音響試験
衝撃試験
最終電気性能試験

射場作業

種子島へ搬送
組立作業
最終質量測定
電気性能試験
衛星推進薬充填
最終点検
衛星と衛星分離部結合
フェアリング収納
ロケットとの結合作業
衛星機能最終確認
射点へ移動
打上げ!

要称「だいち」に決定

こーんなに大変！ 衛星の誕生。



高さ6.5m、幅3.5mの大型衛星のできあがり！これから衛星は種子島へ。



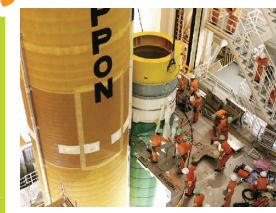
打ち上げ前にはさまざまな試験が



ロケットの部品も種子島に到着！超巨大なコンテナ、こんなの見たことある？



コンテナが大きすぎるので、輸送はもっぱら深夜。大事な荷物、トラックのスピードもゆっくりです。



H-IIAの組立て作業。ここでようやく衛星とロケットは一緒になるわけです。

試験が山盛り！



第1段ロケットが役割を終えて切り離されます。

衛星を覆っていたフェアリングが分離されます。

固体補助ブースターは燃焼を終え、ロケットから切り離されます。

スゴイ速さ！マッハ23!



スゴい速さ！マッハ23!

その後第2段ロケットに点火。秒速7.8km(時速28,000km)に達するまで、加速を続けます。

赤道上空近くでだいちを軌道に投入！衛星誕生！

「だいち」命名者代表りゅうさんの種子島打上げレポート!

All photo & text by Ryuichi Ito

YS-11



国産旅客機YS-11に乗り、いざ種子島へ。 PHOTO BY RYU

増田宇宙通信所



通信所ではアンテナを稼働させてもらえます。 PHOTO BY RYU

ALOS熱試験モデル



質量4トンの最大級の衛星が宇宙に旅立ちます。 PHOTO BY RYU

総合指令塔



発射の最終決定を行うセクションです。 PHOTO BY RYU

宝満神社



神社も雰囲気南国風です。 PHOTO BY RYU

H-IIロケット



実物のロケットの圧倒的な迫力。 PHOTO BY RYU

大崎射場(遠影)



世界一美しいと言われる、ロケット打上センター。 PHOTO BY RYU

大崎射場(近影)



朝一刻と発射を待つばかりです。 PHOTO BY RYU

ロケット打上(1)



轟音とともに打ち上がりました。 PHOTO BY RYU

ロケット打上(2)



ALOSは宇宙へ。 PHOTO BY RYU

JAXA



使命は、宇宙と私たちを導き、社会を結びつけること。 PHOTO BY RYU



伊藤龍一さん

自分が名付けた衛星「だいち」が、宇宙へと飛び立つ。そんなスリリングな体験ができました。自分のモットーは「人生を楽しむ事」また夢を叶える事ができました。皆もいつかロケットを見るチャンスが来るはずですよ!!種子島の風、潮の香り、海の青さ、そしてロケットの飛び立つ轟音を肌で感じてください。自分の夢をあきらめない事が大事ですよ。

「だいち」種子島 体験ルポ → <http://www.qu-up.com/DAICHI/>